

寄稿

SRC会員諸君へ！

海外武者修行のすすめ

三二回

近藤 節夫

SRCの若者が自らのラグビー活動は充分やり遂げたと悟ったら、いち早く海外の旅へ挑戦することを勧めたい。昔の言葉で言うなら「海外武者修行」に出かけることである。武者修行は冒険心を満たすため、その計画、行動を他人に頼らず、自分ひとりの決断ですべて実行しなければならず、自ずとひとりで旅することになる。

海外武者修行へ飛び出してから今年でちょうど六〇年になる。初めて海外へ飛び立ったのは、海外渡航が自由化された二年後の一九六六年だった。今思えば大雑把な渡航ルートと訪れてみたい都市を決めただけで、旅先で特別の計画もなく、航空券を持って外国への興味と好奇心に憑りつかれて出かけただけだった。

旅行先では何が起こるか分からない。早々にジャカルタで裸足の若者に背後からタックルされ迂闊にも腕時計を奪い取られてしまった。しかし、旅の日数、回数を重ねて

いくにつれ自分はどう行動すべきかを理性的に、そして土地の空気や、危機意識、自らの五感から主に臨場感によって行動することを学んだ。場数を重ねれば、その場で咄嗟にどんな行動を取るべきかを次第に学んで行った。

修行先は出来るだけアジア、アフリカ、中東など発展途上国を選んだ方がよい。民族性、社会性、環境、文化・風習、人生観、旅の本質、意外性などを臨場感から学ぶには、先進国より途上国の方が多くの機会に恵まれる。宿泊施設はすべて現地へ着いてから案内所や地元住民に尋ねて、自分なりに抵抗なく泊まれるような簡易宿を探すことだ。旅先では、目に入る珍しい事象などを地元民に積極的に尋ねて旅行先のルート決定の参考にすることも必要だ。旅は極力鉄道、長距離バス、馬車、人力車など地元民に馴染んだ交通機関を利用すれば想定以上に得るものが多い。車内で相席した現地の人々と仲良くなつて幸運にも自宅に招かれたり、思いがけず途上国の文化、庶民の生活などを知り得る機会に出会う。もちろん出かける前に訪問国や国民性について最低限調べておくことは大切である。

六〇年安保闘争のリーダーで、全学連書記長だったSRCの三一回生清水丈夫先輩に誘われ、六〇年安保闘争に飛

び込み活動した。その後ベトナム反戦運動に没入して、厳しい戦時下のベトナムを訪れ、戦乱の首都サイゴンの市場で爆発事件に目を覚まされ、米軍兵士に恐喝までされた。

一九六七年第3次中東戦争直後の中東では、戒厳令の何たるかを思い知らされた。戒厳令下のアンマン市内で突然数名のヨルダン軍兵士に取り囲まれ、銃を身体の前後左右に突き付けられて身柄を拘束されたのである。思わず心の中で両親に悲しい別れを告げた。ゾクゾクする恐怖感の後々まで心の傷となった。両手を上げたまま兵士に急ぎ立てられて市内を連行され、多くの地元住民らが後からぞろぞろ付いてくる無様な姿を晒した。スエズ運河行の列車内でも警官に拘束され、仮施設に軟禁され、一時脱走を企てたこともある。だが、思いがけず、独立直後のアデン（現イエメン）で最初の日本人入国者にもなった。

一九四五年国民学校（現小学校）へ入学して間もなく終戦を迎えた。戦時中米軍機の空襲により防空壕へ逃げ込んで、戦争の怖さは感覚的に知ってはいいたが、それから二〇年後武者修行中に戦場で心の底から戦争の恐ろしさを知らされた。

幸い今年めでたく米寿を迎えることになった。遠からず

浄土のラグビー界から迎えが来ることだろうが、これまで歩んできた人生を振り返って、海外武者修行がわが人生に知恵と勇氣、行動力、生きがい、そして鋭い臨場感など大きな財産を授けてくれ、一回りも二回りも私自身を成長させてくれたと思っている。国内外の多くの人々と知り合うことがその後仕事面でも大いに役立った。自分だけしか味わえない危機一髪を数多く体験し学ばせてもらった。

ただ、決して無理をしてまで未知で危険な暗闇へ自ら進んで飛び込むことはない。自分なりに冷静に考え、安全性に配慮して行動すればよい。

私も人生の晩年を迎えて幼いころから好きだった文を綴ることを生業として日々活動に追われ、海外武者修行中のヒューマニズム溢れる交流、異国で自宅へ招かれた温情、危機一髪の危うい体験など多くの行動について著述活動を通してアピールしている。昨年仲間たちと新しい雑誌「イコール」も創刊し、武者修行のメリットを若者からアクティブ・シニアにも啓発している。外国に信頼できる友人もいっぱいいる。公私を併せ海外へ度々出かけ、これまでに九八カ国を訪れた。ラグビーの聖地であるイギリスのラグビー校でエリス少年が走ったグランドの土も踏みし

めた。ラグビー強豪国のニュージーランドや、南アフリカを訪れたのも武者修行の延長線上の果実である。すべて始まりは海外武者修行だった。精一杯努めて今や思い残すことはない。また生まれ変わっても、まずラグビーと海外武者修行にトライするつもりである。

さあ！ SRCの若者諸君よ！

広く世界を知り自らの成長のために、物怖じせず積極的に武者修行に挑戦してみよう！